

東京という場所に訪れて

8月8日私は東京に向かった。約1年ぶりだった。

私はとても楽しみにしていた。実際私は東京の街を歩いたことはなかったのだ。一体どういった物があるのだろうか。街の風景はテレビで見るものと変わらないのだろうか。どきどきとわくわくで胸がふくらんだ。そして、私は新幹線に乗った。周りは知らない人ばかり。しかし、すぐに打ち解けることができた。みんなでやれるゲームをしたりととても盛り上がった。今回の研修はうまく行きそうな気がする。そんなことも思えたのだった。そして、ついに東京に到着！。駅から出るとそこは別世界のようだった。見たことのないくらい高いビルがいくつもあり、テレビでよく見る景色も…。

私はとても興奮した。その性か友達との会話もいつも以上に弾んだ。

そして、ディレクトフォースが始まった。私ははっきり言ってこの企画をなめていた。どうせこんなおじさん達の話なんか退屈なだけなんだと…。しかし、企画が始まって私は愕然とした。特に、グループセッションでだ。なんてすごい人達なんだ。言葉にはうまく表せないすごさが出ていた。私はとても緊張した。そのせいか話しかけられてもうまく対応することができなかった。あっという間にこの時間は終わってしまった。なんだか、ぼーっとしてしまっていた。とにかくすごかった。

そして、私たちは企業訪問先である江戸川病院に向かった。この企業訪問は私の一番の楽しみであった。なぜなら、ここの先生はプロ野球チームのヤクルトでスポーツドクターをしているからだ。私はこの先生に興味がありたくさんの聞いてみたいことがあった。江戸川病院までは特に迷うこともなく案外簡単に行けた。

まあ、班員が勘と言いつつも正しい方向に導いてくれたおかげだが…。

そうして、着いた江戸川病院だが、周りの風景は仙台と似ていた。どことなく長町の雰囲気だったかもしれない。私は来る前江戸川病院のレビューを見ていた。そこにはたくさんの低評価がなされていた。私は驚いた。そこには、「病院とは思えない、壁のデザイン」「たくさんの生き物を飼っている」とかかかれていた。

実際に着くと、確かにすごかった。壁や天井には謎の絵がたくさんあり、待合室にはイグアナや亀、フラミンゴなどがいた。そして、岩本航先生へのインタビューが始まった。まずは先生がスポーツドクターを目指したきっかけを聞いた。その後には、整形外科医とスポーツ整形外科医の違い、スポーツドクターになるために身につけておくべき力、この仕事のやりがい、先生が考えるスポーツドクターとはなど様々なことを聞いた。特に私が印象に残ってるのはスポーツドクターになるために必要な力についてと、先生が考えるスポーツドクターとはについてだ。先生が考えるスポーツドクターに必要な力は語学力だ。

スポーツ医学の知識は日本よりも海外の方が進んでいる。海外に行ってふれあうことが必要と述べていた。そのためにも語学力が一番必要なのだ。

先生が考えるスポーツドクターとは、についてだ。

スポーツドクターには肩、肘、膝などの広い範囲に痛みを抱えてくる人が多い。そのためにも全ての分野について知っておかなければならない。また、患者の多くは怪我を完治させるのではなく、なるべく早くスポーツに復帰したいと考えている。だから、そのような考えを持ち、リハビリ学なども学んでいかなければならないといていた。私はこの考えを聞いて、多くの知識が必要ということ学んだ。最後にこの病院がこのような施しをしている理由を聞いてみた。それは、前の院長が病院らしさをなくしたいと考え、なくすかはらには徹底しようということだったそうだ。

私は将来、スポーツドクターになりたいと強く思っている訳ではない。しかし、この企業訪問を通してどの職業につくとしてもたくさんの努力と知識が必要ということがわかった。また、何かモデルとする人を決められると良いということも学んだ。その後私たちはホテルに戻り夕食を取った。ホテルに戻る途中も東京の街のすごさを実感した。夕食後私たちは、二高 OB の人達からお話を聞いた。また、私たちは大学生活についてなども事細かに聞いた。聞くと、大学には様々なところから様々な人が来ていてとてもおもしろいところだと述べていた。また、サークルには是非入るべきだと言われおすすめのサークルを紹介されたりもした。中には社会人の人もいて、彼はゲーム会社に勤めていてある人気ゲームに携わっている人だった。私の班のひとたちもそのゲームをやっていた。とてもとても話が盛り上がり楽しかった。すごく参考になった。

その後私たちは部屋に戻りそれぞれの部屋で楽しんだ。部屋には話したことがない人もいたが、とても楽しく過ごすことができた。2日目私たちは東京大学に向かった。東大に向かう途中ラッシュと遭遇し本場のラッシュがいかにすごいかみさせてもらった。とてもなくすごかった。午前中は東大の駒場キャンパスを東大生に案内してもらい、東大のなかを見てまわった。また、東大生に将来についてのプレゼンをしてもらったり相談したりととても濃い時間を過ごすことができた。お昼なった。私たちは渋谷に向かった。そこであるレストランを見つけ中にはいった。そこは鯨専門店だったのだ。初めて食べる鯨に私は圧倒された。とてもおいしかった。また、食べてみたいと強く心から思った瞬間だった。

午後は本郷キャンパスに行った。前半はまず午前と同じ方に案内してもらった。本郷キャンパスを見てこれぞ東大だなあと思った。赤門が特にすごかった。その光景にはさすがにグッときた。そして、ここにはカフェやコンビニもあると聞いた。とてもびっくりした。私が思う大学のイメージとは全く違った。想像以上にも豪華だった。その後わたしたちは、実際に農学部の授業を受けさせてもらった。少々理解しがたい部分もあったがなんとなくのニュアンスはつかめた。そして、研究室などにもお邪魔させてもらった。本物の研究室を見て、ここで寝泊まりすることもあると聞いてびっくりした。そういうのは、ドラマや

漫画だけの世界だと思っていたからだ。

最後には現役東大生に様々なことを質問してみた。役立つことや東大の中のことなど、東大生だからこそわかることとかも聞けてとてもよかった。今回、私たちに携わってくれた東大生にはとても感謝している。また、東大だけでなく、全てにおいて私たちに協力してくれた方々には感謝してもしきれない。ほんとにいい経験をさせてもらったとおもっている。たくさんの初めてを東京で経験した。とても嬉しいことや衝撃的なこともあった。ただ、どれも今後の私たちにとって必要な経験です。この企画をつくってくれた先生方には本当に感謝しています。ありがとうございます。私はこの経験を通じて思ったことは、これからもっとたくさんの勉強をして知識を身につけ、今後なりたいと強く思う職業ができたときにむしゃらに夢を追い求められるようになりたい！ということである。

これから、たくさんの苦難が待ち受けていると思うけど今回の経験を糧に、精一杯がんばっていく。

本当にありがとうございました。